

## 「有機農業の拡大」の進捗状況

産地支援課

### ○令和6年度末の進捗状況

- ・有機JASほ場面積は令和5年の285haから303haとなり、耕地面積に占める有機JASほ場の割合は0.85%と、着実に増加しています。

項 目	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
有機JASほ場面積 (h a)	155	176	182	192	285	303
有機JASほ場の耕地面積割 合 (%)	0.42	0.48	0.50	0.53	0.79	0.85
有機JAS認証取得者 (人)	53	57	63	69	74	87

### ○有機農業の産地づくり

- ・県ではマーケットインの視点で有機農産物の生産拡大に取り組んでおり、実需者から求められるロットの確保や品目の生産拡大に向けて、育苗体制の整備、機械の共同利用、作業受託などの仕組みづくりにより、有機農業の産地形成を進めています。
- ・米では実需者とのマッチングを進め、生産者と取引量がともに拡大しています。また、JASしまねでは有機米に取り組みたい生産者に、水田除草機の貸出しや出荷物を集約化し物流費を抑えるなど、新規栽培者の確保に向けた取組が拡大しつつあります。
- ・野菜では実需者が求めるブロッコリーやミニパプリカなどの露地品目を中心に、導入を進め、取組が拡大しつつあります。

